

ようにまとめられていた打ち上げ海藻の山から藻体を嬉しそうに拾い上げていました。私もそうですが、どこの国の人でも、海藻の研究者には宝の山に見えるようです。ウェットスーツに着替えて器材を背負い、海に潜ると、まず *Fucus vesiculosus* と *Fucus serratus*, *Furcellaria lumbricalis* の群落で、次に *Chorda filum*, アマモの1種の群落、そして *Saccharina latissima* が生育しており、深度とともに優占種が変化していきました。また、水深9-11m付近に水温躍層があり、水深9mでは15°Cでしたが、水深11mでは9°C程度でした。底質は、泥で、イガイ類の上に、海藻が付着し生育していました。海外で、潜って植生を観察することは、日本と違った状況を観察でき、

非常にいい経験になりました。

今回の学会では、コーヒープレイク、ソーシャルイベントなどでたくさんの方と交流することができました。また、学会参加を通じて、研究者として、海藻の知識や実験技術も、もちろん重要ですが、まず英語で議論できる力が必要だと感じました。次回の23rd ISSは、2019年の4月29日から5月3日に韓国の済州島で開催されるそうです。ゴールドデンウィークなので旅費が高そうですが、是非参加したいです。次回の学会でより良い報告ができるように日々研究に励みたいです。

(東京海洋大学応用藻類学研究室)

国立科学博物館企画展

藻の見遊山

「日本の自然を世界に開いたシーボルト」

Philipp Franz Balthasar von Siebold as a pioneer naturalist of Japan

2016年9月13日(火)～12月4日(日)



2016 9/13(火) - 12/4(日)

シーボルト

日本の自然を世界に開いた

Philipp Franz Balthasar von Siebold as a pioneer naturalist of Japan

国立科学博物館 (東京・上野公園) 日本館1階企画展示室

開館時間 / 午前9時～午後5時 (金・土曜日は午後8時まで)
 (休館日は午後8時まで、入館は各閉館時刻の30分前まで)

休館日 / 毎週月曜日
 (12月24日(クリスマス)・12月25日(クリスマス)・12月26日(12月27日祝日))

入館料 / 一般・大学生は620円 (団体310円)
 高校生以下および65歳以上は無料

主催 / 国立科学博物館
 協賛 / 東京大学総合研究博物館
 賛助 / 東京大学東洋学研究所
 アナトリア学術センター (オズ) /
 シムラニョウ 東京大学 (ドイツ) /
 フランケンシュタイン・メッセルマンアーカイブ (ドイツ)

お問い合わせ / ハローダイヤル 03-5777-8600
 ホームページ <http://www.kahaku.go.jp/>

ドイツ生まれの若き医師であったシーボルトは、1823年にオランダ商館医として来日し、西洋世界にとって未知であった日本の動植物と鉱物を収集してヨーロッパに伝えた。植物は1万点を超える押し葉標本が採集されたが、そのなかには海藻も含まれている。

シーボルト (1796—1866) の没後150年にあたる今年、国立科学博物館では、ライデンのナチュラリス生物多様性センターなどに収蔵されているシーボルトコレクションからとりわけ重要な自然史標本を選び、「里帰り」展示を開催中である。海藻は、日本の代表的な種であるワカメ、マコンブ、カバノリを借用することができた。いずれも200年近く前に採集されたものであるが、ワカメなどはスリンハーの『アルガエ・ヤポニカエ (日本の藻類)』(1870)に描かれたままの色と形 (左図の左上) がいまでも残されており、感動ものである。是非ご来場いただきたい。

(北山太樹)

【国立科学博物館】

開館時間：午前9時～午後5時 (金・土曜日は午後8時まで)

入館は各閉館時刻の30分前まで。

休館日：毎週月曜日 (月曜日が祝日の場合は翌火曜日)。

入館料：一般・大学生は620円 (団体310円)。

高校生以下および65歳以上は無料。

所在地：東京都台東区上野公園7-20

交通：JR山の手線上野駅公園口から徒歩5分。

問合せ：Tel 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

URL：<http://www.kahaku.go.jp/>